

視 察 報 告 書

1 視察年月日

令和6年5月15日から5月17日まで

2 視察場所

令和6年5月15日（水）徳山駅前賑わい交流施設（山口県周南市）

令和6年5月16日（木）広島市役所

令和6年5月17日（金）三原市立中央図書館（広島県三原市）

3 視察事項

○ 山口県周南市

徳山駅前賑わい交流施設について

○ 広島県広島市

「水の都ひろしま」推進計画について

○ 広島県三原市

三原市立中央図書館について

4 視察参加者（4名）

関川 翔、石井めぐみ、山野井 隆、入江洋一

5 視察行程

別紙のとおり

6 視察報告

別紙のとおり

上記のとおり報告します。

取手市議会議長 岩澤 信 殿

令和6年5月 21日

取手市議会会派みらい・維新・国民の会 代表 関川 翔

取手市議会会派みらい・維新・国民の会 代表 関川 翔 殿

行政視察報告書

取手市議会議員 山野井 隆

- 1 視察日 令和6年5月15日(水)
- 2 視察先 徳山駅前賑わい交流施設(山口県周南市)
- 3 調査項目 徳山駅前賑わい交流施設について

4 視察内容

①経緯

中心市街地の衰退

駅ビルの閉鎖→市が買い取り運営

H17年 徳山駅周辺整備構想

H21年 駅前広場、南北自由通路基本計画

H25年11月 新たな駅ビル整備基本構想

CCCとの共同声明を発表

市民アンケートによるニーズ調査の結果、書店・カフェの要望が1位・2位を占める。

H30年2月 賑わい交流施設及び図書館共用開始

②事業費

建築費 27億6,400万円

駐車場 5億3,600万円

解体費 5億6,100万円

その他(用地・設計・内装)

12億9,000万円

図書関係費 3億6,400万円

計 55億1,500万円

③効果(来館者数)

H31年2月 200万人

R5年11月 1,000万人

④特色

官民連携

- ・商工会議所・CCC・JR・イベント実施団体・市役所
等が参加する中心市街地活性化協議会の設立
 - ・官民連携(PPP)管理運営事業
 - ・周南公立大学サテライトオフィス
- リスキリング教育等、地域との連携に関するワンストップ
サービス
- ・徳山駅周辺施設管理オフィス
- イベント相談業務、キッチンカーの出店相談、使用許可申請窓口
まとめ
- 取手市の駅前図書館計画において必要と感じたこと。
- ①中心市街地の経済波及効果を数値化。
 - ②来館者の内訳(市内・市外)を把握し、恒常的な利用者の実態調査。
 - ③東口への経済効果を波及させる上で、東西自由通路整備を検討すること。
 - ④定住人口の減少を抑制する為の役割を明確にするべき。

以上 山口県周南市の視察報告とします。

取手市議会会派みらい・維新・国民の会 代表 関川 翔 殿

行政視察報告書

取手市議会議員 山野井 隆

- 1 視察日 令和6年5月16日(木)
- 2 視察先 広島県広島市役所
- 3 調査項目 「水の都ひろしま」推進計画について

4 視察内容

①経緯

H2年3月 国・県・市による『水の都整備構想』

H15年1月 『水の都ひろしま』構想を策定

10月 推進計画

令和6年3月第三次『水の都ひろしま』推進計画を策定

②概要

- ・水辺における都市の楽しみ方の創出
- ・都市観光の主要な舞台づくり
- ・水の都ひろしまにふさわしい個性と魅力ある風景づくり

水の都ひろしま推進協議会・・・官民連携

河川利用に関する特例措置等、規制緩和を促進

- ・水上交通の運航・世界遺産航路
- ・水辺のオープンカフェの取り組み

③効果

- ・水辺を通じた地域コミュニティ形成
- ・観光資源を活用したイベント等の賑わいの創出
- ・ごみのない水辺づくりの実現
- ・水辺のライトアップ事業による夜間回遊性の向上による滞在型観光の促進

④特徴

個性的な水辺景観を利用した観光資源

- ・水辺の歩行者空間が豊か(市内6本の河川緑地がある)
- ・市内河川の干満差が大きく、変化のある景観をつくっている。
- ・市街地の水面面積比率は13%

まとめ

取手市において、取手緑地公園の広大な河川敷の利活用計画に力を入れ、前例にとらわれないイベントを実現してはどうか。河川周辺の関係法令の規制緩和が必要。

以上 広島県広島市の視察報告とします。

取手市議会会派みらい・維新・国民の会 代表 関川 翔 殿

行政視察報告書

取手市議会議員 山野井 隆

- 1 視察日 令和6年5月17日(金)
- 2 視察先 三原市立中央図書館(広島県三原市)
- 3 調査項目 三原市立中央図書館について

4 視察内容

・駅前東館跡地活用事業について

中心市街地の閉店したテナントの跡地活用として
駅前に三原市立図書館の設置

①経緯・概要

平成18年に駅前の大型テナントが閉店

解体・撤去し市が土地を購入

市民ニーズ調査・まちづくり戦略検討会議により

図書館・ホテル・広場・コンベンションの4機能を検討。

・公募型プロポーザル方式・事業用定期借地権方式の採用

・予算規模は16億7千万円以下

実質負担は7億6千万円(起債・補助率1/2)

平成30年4月 設計着手

平成31年4月 工事着手

令和2年7月 供用開始

②図書館の概要

・生涯学習支援機能

・キッズスペースの設置

・電子図書館の設置→デジタルセミナーを各地で開催し対応。

・商業施設・ホテル等の複合施設(キオラスクエア)として
交流人口の増加を創出。

・祝日・休日等も開館→利用者目線で利便性を拡大。

・地域連携(地元商店街・地域のイベントを相互に支援)

③効果と課題

・図書館利用者数の増加 令和5年度38万人(日/980人)

- ・地域経済への影響
- ・交流人口増加
- ・3カ所の分館との住み分け。
- ・紙媒体の書籍利用促進。

まとめ

取手市において、中心市街地への図書館機能は複合施設計画の1部に過ぎず、交流人口・定住人口増加へ向けては、利便性・話題性・回遊性等を考慮した計画立案が必要。

以上 広島県三原市の視察報告とします。

茨城県取手市議会 会派 みらい・維新・国民の会
行政視察研修 行程表

令和6年5月15日（水） 午前5時40分集合

NH 633

取手駅……………品川駅……………羽田空港……………岩国錦帯橋空港……………
05:47 発 06:43 発 06:47 発 7:05 着 9:00 発 10:35 着

……………周南市視察研修（徳山駅前賑わい交流施設）……………宿泊地（周南市内）
14:00～15:30

周南市研修事項 「徳山駅前賑わい交流施設について」

令和6年5月16日（木）

宿泊地（周南市内）……………広島市視察研修……………宿泊地（広島市内）
10:00～11:30

広島市研修事項 「『水の都ひろしま』推進計画について」

令和6年5月17日（金）

宿泊地（広島市内）……………三原市視察研修（三原市立中央図書館）……………
10:00～11:30

NH 680

……………広島空港……………羽田空港……………品川駅……………取手駅
15:45 発 17:10 着 17:52 発 18:16 着 18:24 発 19:19 着